

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名						
ケアコミュニケーション						
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名	実務経験		
柔道整復学科・夜間部	1年	前期	宮崎、吉賀、黒木、関根			
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数
基礎分野	科学的思考の基盤人間と生活			座学	2	21
科目概要						
医療・介護・福祉の現場で求められるケアコミュニケーション能力の基礎を身につける科目です。障害の基礎知識、生活支援の在り方についても理解し、福祉分野における医療人の在り方について説明できるようにします。						
目標						
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	ケアコミュニケーションは、医療現場に必要なコミュニケーション能力です。この講義の目標は、その重要性を理解・記憶・即実践し、臨床実習等での医療面接を学ぶ際に、より深く深く理解することにあります。					
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容を、体系的な指標(目標群)	<p>第1回～6回の対人関係スキルについて、その要点をまとめることができる。実際の生活の場で実践できる。</p> <p>第7回 自己覚知の必要性と方法について、その要点をまとめることができる。</p> <p>第8回 自己覚知を深めるためのテクニックについて、その要点をまとめることができる。</p> <p>第9回 思考、感情、言動の源泉となる自分の価値観を探ることについて、その要点をまとめることができる。</p> <p>第10回 アサーティブ・コミュニケーションの理念と技法について、その要点をまとめることができる。</p> <p>第11回 第7回～10回の内容を振り返り、グループ内で将来必要性の優先度を決め、素直な復讐としてなぜそれが重要なのかを議論し、意見をまとめることができる。活発な発言や、議論への参加度、また他の意見に共感し意見を言えることなどで評価する。</p> <p>第12回 アサーティブ・コミュニケーションの理念と技法について、その要点をまとめることができる。</p> <p>第13回 聴覚障害の方とのコミュニケーションについて、その要点をまとめることができる。</p> <p>第14回 知的障害の方とのコミュニケーション・差別について、その要点をまとめることができる。</p> <p>第15回 高齢者とのコミュニケーション・気持ちを知るについて、その要点をまとめることができる。</p> <p>第16回 高齢者とのコミュニケーション・介助技法について、その要点をまとめることができる。</p> <p>第17回 認知症について理解し、その要点をまとめることができる。</p> <p>第18回 第13回～18回の内容を振り返り、グループ内で将来必要性の優先度を決め、素直な復讐としてなぜそれが重要なのかを議論し、意見をまとめることができる。活発な発言や、議論への参加度、また他の意見に共感し意見を言えることなどで評価する。</p> <p>第19回 ターミナルケア(尊厳死)について理解し説明することができる。</p>					
履修に必要な予備知識や技能						
教科書・参考書						
第1回～6回 対人関係のスキルを学ぶワークブック						
受講上の注意						
この科目で学んだケアコミュニケーションの技法は、即自身の生活の場で実践をしてください。その繰り返しができる方は、3年後医療人として卒業していく時に大きな力となります。						
成績評価方法						
評価方法	定期試験 (小テスト (クイズ/テスト))	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)		100				100
各内容ごとに印象に残った講義の要点など、自分の意見をまとめたレポート形式で提出する。そのまとめ方、伝え方、取組む姿勢等を総合的に判断し評価点とする。						
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物	
第1回	さわやかな印象を与える自己表現				対人関係のスキルを学ぶワークブック	
第2回	「ノー」と言える勇気をもつ				"	
第3回	自分の考え方の癖を知る				"	
第4回	さわやかな印象を与える自己表現するためのトレーニング・言				"	
第5回	臨床現場でのケアコミュニケーション				"	
第6回	怒りをどう表現しコントロールするか				"	
第7回	自己覚知の必要性と方法					
第8回	自己覚知を深めるためのテクニック					
第9回	思考、感情、言動の源泉となる自分の価値観を探る					
第10回	アサーティブ・コミュニケーションの理念と技法					
第11回	第7回～10回までのまとめ、グループワーク					
第12回	第7回～10回までのまとめ、発表					
第13回	視覚障害の方とのコミュニケーション・白杖体験					
第14回	聴覚障害の方とのコミュニケーション					
第15回	知的障害の方とのコミュニケーション・差別					
第16回	高齢者とのコミュニケーション・気持ちを知る					
第17回	高齢者とのコミュニケーション・介助技法					
第18回	認知症を理解する					
第19回	第13回～17回までのまとめ、グループワーク					
第20回	第13回～17回までのまとめ、発表					
第21回	ターミナルケア、尊厳死					
実務経験と本講義との関連について						
各講義内で担当教員が説明します。						
メールアドレス						
授業中もしくは授業終了後に質問してください。						